

## 平成16年度筑波研究学園都市の外国人研究者等調査結果

筑波研究学園都市は、筑波研究学園都市建設法に基づき、世界でも類例のない頭脳都市として建設され、1980年（昭和55年）3月に概成し、25年近く経過した今日、9の国立試験研究機関、22の独立行政法人、23の公益法人、4の大学・学校法人、70程度の民間研究機関等、計130近くの研究機関が集まり、約22,000人の研究者が研究活動を行っており、名実ともにわが国における学術・研究の中核的拠点として機能している。

また、先般閣議決定された第3期科学技術基本計画（平成18～22年度）においては、筑波研究学園都市を「内外に開かれた国際研究開発拠点として引き続き育成・整備を図る」ものと定めている。

このような状況の中、筑波研究学園都市に立地する研究機関等からなる当協議会は、筑波研究学園都市の一層の発展、研究の活性化のための種々の活動を行っているが、筑波研究学園都市に研究等の活動に訪れ、滞在する外国人研究者等が安んじて研究に専念でき、家族と暮らせるよう、国際化に十分対応できる環境を整備すべきものと考えており、筑波研究学園都市の外国人研究者等の現状を正確に把握し、多くの関係者の協力を得て、環境整備を推進していくこととしている。

本調査は、この基礎資料とすることを目的として、1988年（昭和63年）度に当協議会の前身である筑波研究学園都市研究機関等連絡協議会が始めたものであるが、ほぼ現在の形で、1990年（平成2年）度から毎年実施しているものである。

ここにとりまとめた調査結果報告は、2004年（平成16年）度の筑波研究学園都市に研究等で滞在していた外国人研究者等を対象に国立試験研究機関、独立行政法人、大学・学校法人等、公益法人及び民間研究機関の協力を得て調査を実施し、結果を取りまとめたものである。

ご多忙の中、ご協力いただいた関係者に御礼を申し上げます。

この報告書が、筑波研究学園都市の国際化、研究環境改善の一助となれば、幸いである。

平成18年 月  
筑波研究学園都市交流協議会  
国際交流専門委員会委員長

安藤正海

## 1. 調査対象項目

### (1) 対象機関

国立機関	9 機関
独立行政法人等	2 2 機関
大学法人等	4 機関
公益法人	2 3 機関
民間研究所	6 8 機関
合計	1 2 6 機関

### (2) 対象者

平成 1 6 年度に、筑波研究学園都市の上記対象機関に 5 日以上滞在した外国人研究者（正規職員を含む。）、研修生、教育者、留学生等。

### (3) 調査項目

- ①研究者総数 ②年齢別 ③滞在期間 ④目的 ⑤滞在（赴任）状況  
⑥居住場所 ⑦居住状況 ⑧単身者数 ⑨国籍及び地域 ⑩旅費 ⑪滞在費

(注) 平成 13 年度以降の産業技術総合研究所のデータについては、以下の制約がある。

- ・ 対象者の滞在期間は、6 日以上
- ・ 調査項目によっては、分類ができていないものがあり、「その他」、「不明」に計上されている。これについては、各調査項目毎に注記されている。

## 2. 調査結果の概要

### (1) 結果報告のはじめに

筑波研究学園都市の外国人研究者等調査は、昭和 6 3 年度を初回として、平成 2 年度からは毎年実施してきている。

平成 6 年度調査までは、対象を 2 週間以上滞在の外国人研究者等としていたが、平成 7 年度調査からは、5 日以上の滞り者も調査に加えたところである。このため、いくつかの項目については、毎年の経年変化を単純に比較することが困難となっているものもあるが、全体の傾向はつかめるものとする。

### (2) 調査結果総論

本調査結果から、筑波研究学園都市に 2 週間以上滞在した外国人研究者等の総数は、

3,958名（前年度比3.6%減）、5日以上滞在した外国人研究者等の総数は4,960名（前年度比0.7%減）であった。

本年は、研究課題終了に伴い招へい研究者が減少した等の理由により前年に比較し若干の減少となったが、筑波研究学園都市は、科学技術基本計画上の位置付けと相まって、世界から研究交流・情報交流の拠点として機能しているため、今後は更に外国人研究者等が増加していくものと予想される。世界に誇れる研究学園都市となるためにも、外国人研究者等のための住宅、子弟教育等の生活環境整備を引き続き計画的に促進していく必要がある。

### （3）研究者総数

- ① 調査した126機関のうち、外国人研究者等を受け入れたとする回答があった機関は、国立機関、独立行政法人、大学法人等35機関中26機関、公益法人23機関中2機関、民間研究所68機関中14機関の計45機関であり、前年度より2機関増加した。受け入れ機関数の推移を、表1-0、図1-0に示す。
- ② 平成16年度に筑波研究学園都市にある試験研究機関等で、2週間以上滞在した外国人研究者等の総数は、3,958名である（表1-2）。前年度（4,105名）に対して、147名（3.6%）減少したが、本調査を開始した1988年（昭和63年）度の1,803名と比較すると、17年間で約2.2倍に増加（年平均7.0%の増加率）している。また、5日以上滞在した外国人研究者等の総数は、4,960名である（表1-1）。これらの数字には、彼らの家族の数は含まれていないが、家族数を加えればかなりの外国人の滞在者数となる。なお、つくば市の2004年（平成16年）度末（平成17年3月31日現在）の外国人登録者総数は、130カ国から7,163名（前年度比0.6%増）であった。
- ③ 2週間以上滞在した外国人研究者等の滞在期間別区分では、国立試験研究機関、独立行政法人、大学等が、3,890名（前年度比3.6%減）、学校法人、公益法人を含む民間機関は、68名（前年度比9.7%増）であった（表1-3）。

### （4）年齢別（5日以上滞業者での比較）

年齢別では、30代（2,076名）、20代（1,291名）、40代（1,061名）の順に多く、この3つの世代で全体の89.3%を占めている（表-2）

### （5）滞在期間

滞在期間では、1年未満の滞在が2,629名で全体の53.0%（前年度51.

8%)を占め、1年以上の滞在が1,706名で全体の34.4%(前年度32.7%)であった(表一3)。

(6) 目的(2週間以上の滞在者での比較)

滞在の目的別では、研究が1,893名(全体比47.8%)、留学が1,258名(同31.8%)、研修が646名(同16.3%)、教育が161名(同4.1%)の順になっている(表一4)。

(7) 滞在(赴任)状況(2週間以上の滞在者での比較)

本年調査において、産業技術総合研究所683名(6日以上滞在者)について、世帯か単身について不明であり、「その他」に計上している(表一5)。

(8) 居住場所(2週間以上の滞在者での比較)

本年調査において、産業技術総合研究所268名(6日以上滞在者)について、つくば市内かつくば市外かについて不明であり、「つくば市外」に計上している。(表一6)。

(9) 居住状況(5日以上滞在者での比較)

本年調査において、産業技術総合研究所683名(6日以上滞在者)に関し、滞在期間別の居住状況について、不明であり、「不明、その他」に計上している。

1年未満滞在では、研修施設、宿舎、ホテルの利用が多く、1年以上滞在では、宿舎、借家アパートが多い。このことは、引き続き、長期滞在可能な公的宿舎への需要があることを示している(表一8)。

単身者の滞在期間別の居住状況についても、同様に、本年調査において、産業技術総合研究所683名については不明であり、計上していない。表8と同様の傾向が窺える(表一9)。

(10) 国籍及び地域(2週間以上の滞在者での比較)

① 地域別では、アジア地域が最も多く、2,613名(全体の66.0%)、次いで欧州、北米地域が817名(同20.6%)、中南米地域が177名(同4.5%)、中近東地域が159名(同4.0%)、アフリカ地域が133名(同3.4%)、大洋州地域が59名(同1.5%)と続いている。この全体構成比は、ここ数年、多少の変化はあるものの、同様の傾向にある。

また、地域単位の前年比増減を見ると、アジア、大洋州及びアフリカ地域が減少した。特にアジアの減は全体の減を上回っている。中近東及び欧州・北米地域は微増である。(表一10)。

② 国籍は、のべ151カ国にわたり、前年度より13カ国増加した。

また、国籍別では、中国から1,126名（全体の28.5%）が最も多く、次いで韓国572名（同14.5%）、アメリカ157名（同4.0%）、ロシア155名（同3.9%）、インド144名（同3.6%）、タイ129名（同3.3%）、台湾103名（同2.6%）、フィリピン97名（同2.5%）、バングラディッシュ78名（同2.0%）、フランス78名（同2.0%）の順であった（表—11）。この上位10カ国で全体の67.3%を占め、そのうち、7カ国がアジア地域で、残り3カ国が欧州、北米地域であった。

（11）旅費（2週間以上の滞在者での比較）

旅費負担については、日本側負担が全体の42%、私費が同27%、外国側負担が11%であり、日本側が積極的に外国人研究者等を招聘していることが窺える（表—12）。

（12）滞在費（2週間以上の滞在者での比較）

滞在費負担については、日本側負担が全体の48%、私費が同23%、外国側負担が同10%であり、日本側が積極的に外国人研究者等を招聘していることが窺える（表—13）。

注1 本調査は、各研究機関等に調査いただいた回答に基づいており、同一の者が複数の研究機関等に、それぞれ滞在した場合には、重複して計上している場合がある。

注2 調査対象者は、2004年（平成16年）度に筑波研究学園都市の研究機関等に5日以上滞在した外国人研究者等（2004年（平成16年）3月31日以前からの滞行者及び2005年（平成17年）4月1日以降の滞在予定者を含む。）である。

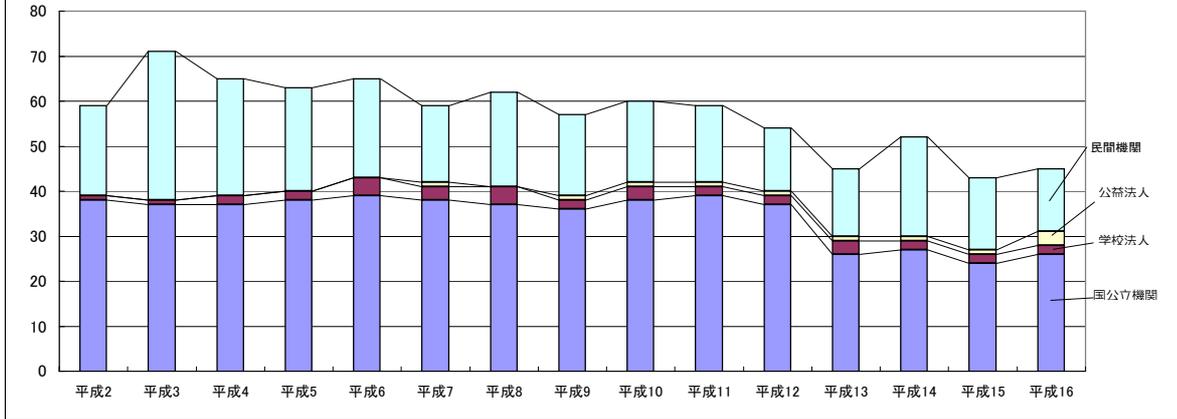
注3 目的別の分類は、対象機関の記入者の判断による。

## 比較表〔受け入れ機関数・研究者総数・年齢別・滞在期間〕

《表1-0》 受入機関数

	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
国公立機関	38	37	37	38	39	38	37	36	38	39	37	26	27	24	26
公益法人	1	1	2	2	4	3	4	2	3	2	2	3	2	2	2
学校法人	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	3
民間機関	20	33	26	23	22	17	21	18	18	17	14	15	22	16	14
合計	59	71	65	63	65	59	62	57	60	59	54	45	52	43	45
前年比	-	12	-6	-2	2	-6	3	-5	3	-1	-5	-9	7	-9	2

図1-0 受入機関数推移

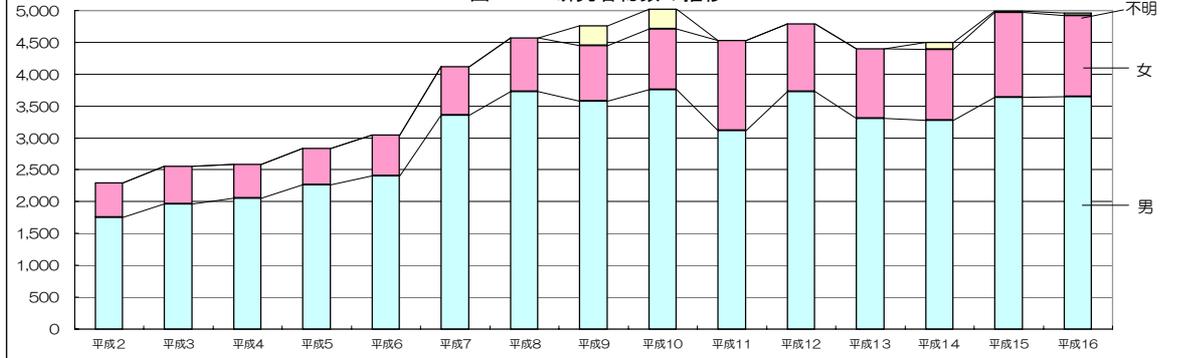


《表1-1》 研究者等総数 (5日以上滞在者での比較)

	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
男	1,751	1,963	2,054	2,265	2,409	3,353	3,725	3,578	3,753	3,115	3,730	3,304	3,276	3,641	3,647
女	544	593	529	573	638	770	840	868	955	1,411	1,056	1,096	1,114	1,325	1,276
不明								313	310				110	28	37
合計	2,295	2,556	2,583	2,838	3,047	4,123	4,565	4,759	5,018	4,526	4,786	4,400	4,500	4,994	4,960

\*但し平成6年度以前は2週間以上の滞在者での比較とする

図1-1 研究者総数の推移



\*图中的数值は1%未満を処理したので、本文中の数値とは必ずしも一致しない、以下の図同じ。

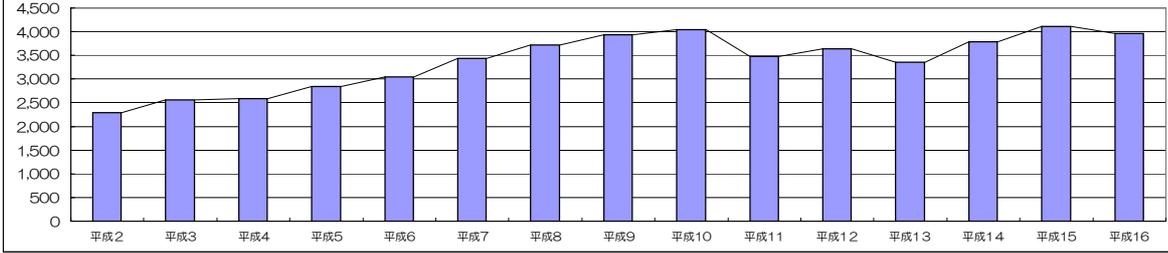
図1-2 男女比率



《表1-2》研究者等総数〔2週間以上の滞在者での比較〕

	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
合計	2,295	2,556	2,583	2,838	3,047	3,433	3,715	3,939	4,047	3,482	3,636	3,352	3,781	4,105	3,958

図1-3 2週間以上滞在者の推移



《表1-3》官民滞在期間別の推移〔2週間以上の滞在者での比較〕

	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
国立機関	2,233	2,472	2,515	2,740	2,943	3,347	3,638	3,871	3,959	3,396	3,562	3,287	3,697	4,043	3,890
民間機関	62	84	68	98	104	86	77	68	88	86	74	65	84	62	68
合計	2,295	2,556	2,583	2,838	3,047	3,433	3,715	3,939	4,047	3,482	3,636	3,352	3,781	4,105	3,958

図1-4 官民滞在期間別の推移

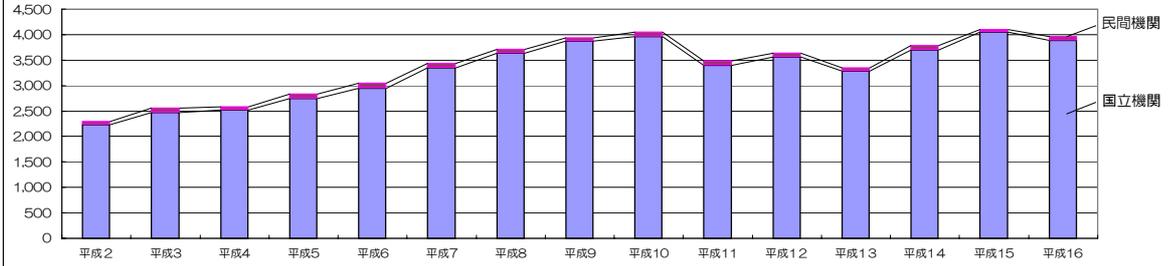
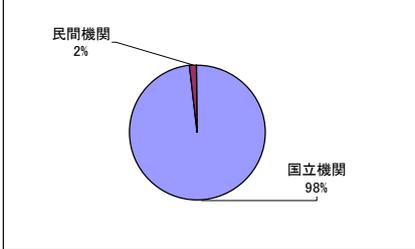


図1-5 官民滞在期間別の受け入れ数



《表-2》年齢別構成〔5日以上滞在者での比較〕

	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
20代	730	774	852	953	851	918	919	862	1,011	907	1,004	1,092	1,140	1,281	1,291
30代	1,059	1,192	1,141	1,238	1,436	1,864	2,046	2,082	2,269	2,074	2,197	1,970	1,987	2,112	2,076
40代	253	302	302	353	523	857	991	864	1,003	900	951	855	834	957	1,061
50代	84	115	116	140	182	366	394	367	450	356	401	318	280	312	346
60才以上	16	15	24	33	32	77	87	87	104	78	117	107	107	119	113
その他	153	158	148	114	22	41	128	497	181	211	116	58	152	213	73
合計	2,295	2,556	2,583	2,831	3,046	4,123	4,565	4,759	5,018	4,526	4,786	4,400	4,500	4,994	4,960

\*但し平成6年度以前は2週間以上の滞在者での比較とする

図2-1 年齢構成の推移

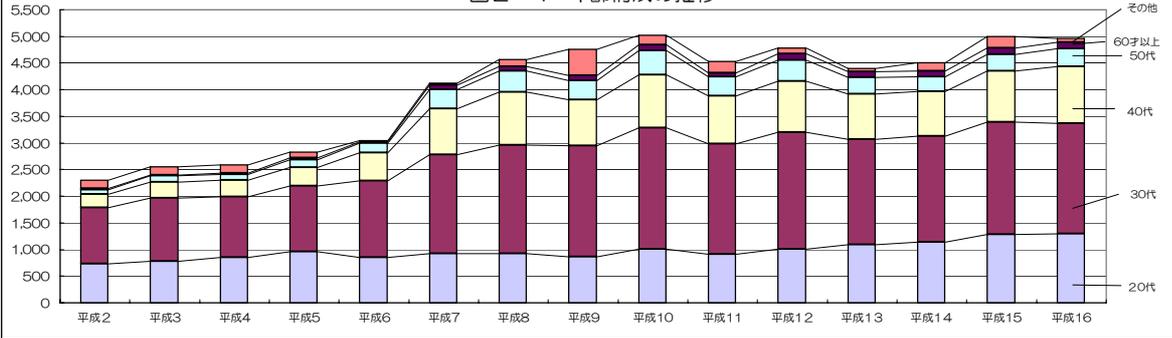
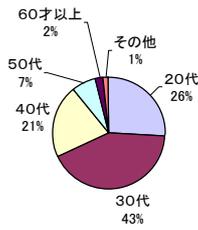


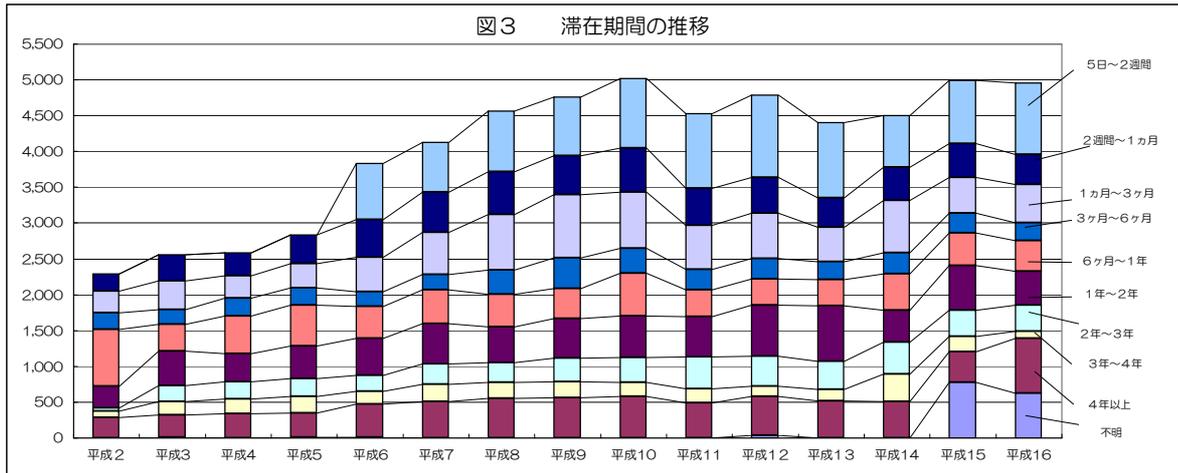
図2-2 年齢別構成



《表-3》 滞在期間

	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
5日以上 14日未満					790	690	850	820	971	1,044	1,150	1,048	719	889	1,002
14日以上 1ヶ月未満	248	366	322	401	527	564	598	546	619	510	501	414	464	470	422
1ヶ月以上 3ヶ月未満	302	398	310	344	480	586	769	878	784	621	628	480	734	500	533
3ヶ月以上 6ヶ月未満	232	208	246	236	204	212	346	429	346	287	289	249	292	276	249
6ヶ月以上 1年未満	788	372	530	572	442	471	447	417	596	374	366	364	512	453	423
1年以上 2年未満	310	478	394	457	516	565	507	555	577	554	707	773	444	627	478
2年以上 3年未満	38	229	234	245	225	282	269	331	350	449	421	394	443	360	368
3年以上 4年未満	93	185	208	237	178	242	222	217	197	197	148	157	382	217	98
4年以上	284	311	336	337	469	511	554	564	577	489	543	521	508	428	762
不明	0	9	3	8	6	0	3	2	1	1	33	0	2	774	625
合計	2,295	2,556	2,583	2,837	3,837	4,123	4,565	4,759	5,018	4,526	4,786	4,400	4,500	4,994	4,960

図3 滞在期間の推移

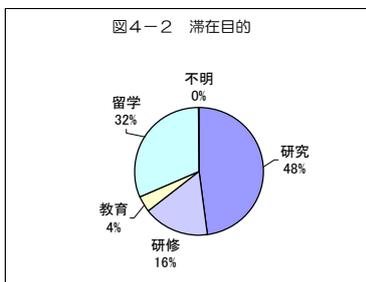
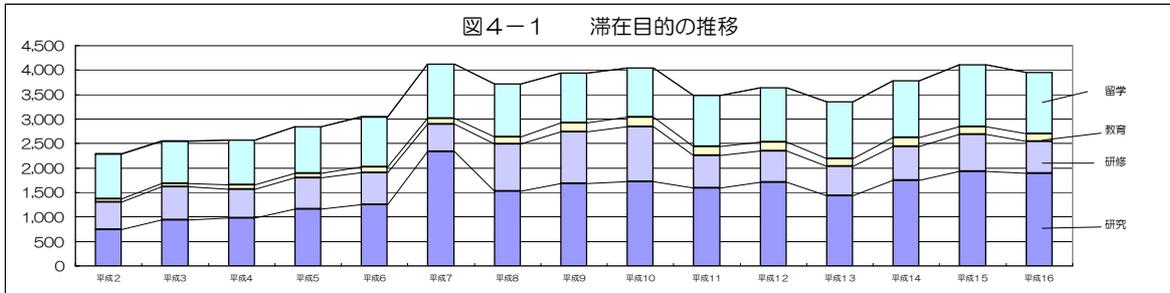


## 比較表〔目的・滞在(赴任)状況・居住場所〕

《表-4》滞在目的の推移〔2週間以上の滞在者での比較〕

	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
研究	749	939	984	1,155	1,246	2,335	1,524	1,680	1,728	1,589	1,703	1,439	1,749	1,929	1,893
研修	559	677	584	642	662	564	966	1,064	1,110	666	647	596	691	755	646
教育	65	62	86	94	118	111	148	180	195	182	185	151	185	158	161
留学	908	870	919	947	1,007	1,113	1,075	1,015	1,014	1,045	1,101	1,166	1,155	1,263	1,258
不明	14	8	0	0	14	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0
合計	2,295	2,556	2,573	2,838	3,047	4,123	3,715	3,939	4,047	3,482	3,636	3,352	3,781	4,105	3,958

\*但し平成7年度は、5日以上2週間未満の690名を含む。



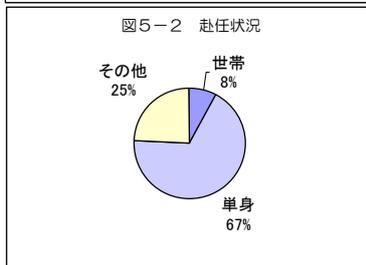
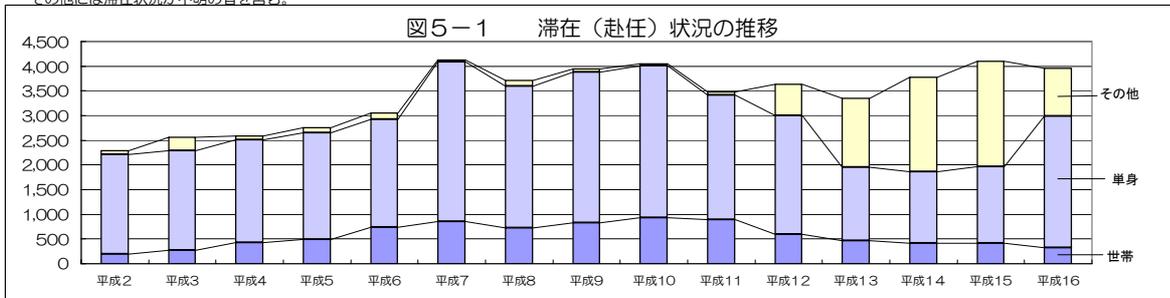
《表-5》滞在(赴任)状況〔2週間以上の滞在者での比較〕

	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
世帯	190	276	425	486	734	850	722	826	927	886	590	463	415	415	321
単身	2,017	2,010	2,080	2,168	2,191	3,231	2,870	3,052	3,085	2,527	2,411	1,486	1,452	1,555	2,667
その他	88	270	78	103	122	42	123	61	35	68	635	1,403	1,914	2,135	970
合計	2,295	2,556	2,583	2,757	3,047	4,123	3,715	3,939	4,047	3,481	3,636	3,352	3,781	4,105	3,958

\*但し平成7年度は、5日以上2週間未満の690名を含む。

平成11年度は、研究者夫婦が一組存在する為、研修者等総数機関別総括表の合計と一致しない。

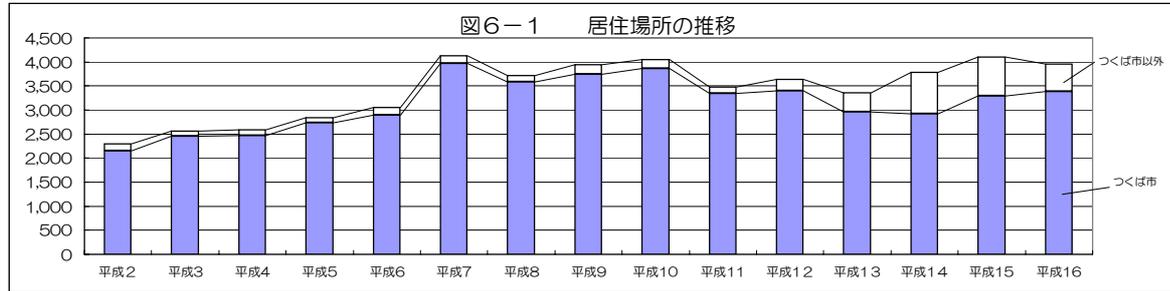
その他には滞在状況が不明の者を含む。



《表-6》 居住場所〔2週間以上の滞在者での比較〕

	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
つくば市	2,148	2,456	2,473	2,738	2,893	3,967	3,579	3,737	3,869	3,340	3,399	2,957	2,922	3,292	3,389
つくば市以外	147	100	110	100	154	156	136	202	178	141	237	395	859	813	569
合計	2,295	2,556	2,583	2,838	3,047	4,123	3,715	3,939	4,047	3,481	3,636	3,352	3,781	4,105	3,958

\*但し平成7年度は、5日以上2週間未満の690名を含む。  
 平成11年度は、研究者夫婦が一組存在する為、研修者等総数機関別総括表の合計と一致しない。  
 つくば市外には滞在状況が不明の者を含む。

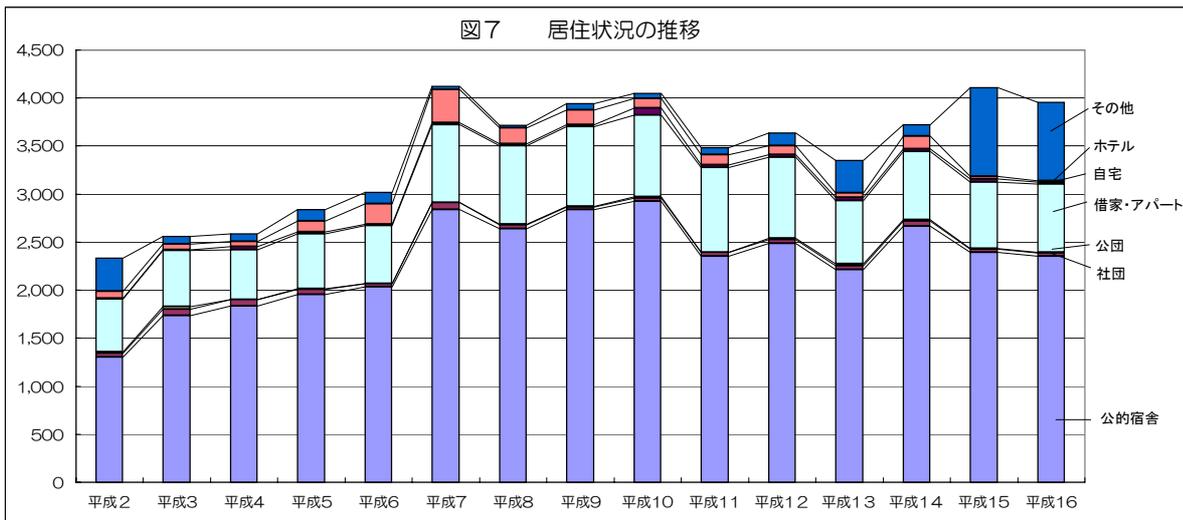


比較表〔居住状況〕

《表-7》 居住状況〔2週間以上の滞在者での比較〕

	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
公的宿舎等	1,304	1,738	1,837	1,951	2,035	2,835	2,640	2,836	2,927	2,350	2,487	2,213	2,668	2,392	2,356
社宅	40	63	62	59	32	76	41	30	34	40	42	41	50	35	30
公団	12	30	3	6	2	1	3	5	9	4	9	20	12	8	8
借家・アパート	551	582	518	569	604	810	817	830	853	882	845	660	712	688	710
自宅	6	7	30	18	10	21	20	20	75	25	27	30	30	36	22
ホテル	74	57	53	118	215	348	170	155	100	109	90	47	129	24	12
その他	348	79	80	117	118	32	24	63	49	72	136	341	121	922	820
合計	2,335	2,556	2,583	2,838	3,016	4,123	3,715	3,939	4,047	3,482	3,636	3,352	3,722	4,105	3,958

\*但し平成7年度は、5日以上2週間未満の690名を含む。  
 \*但し平成15年度は産業技術総合研究所の職員55名のみ住居状況把握  
 \*その他には不明の者を含む

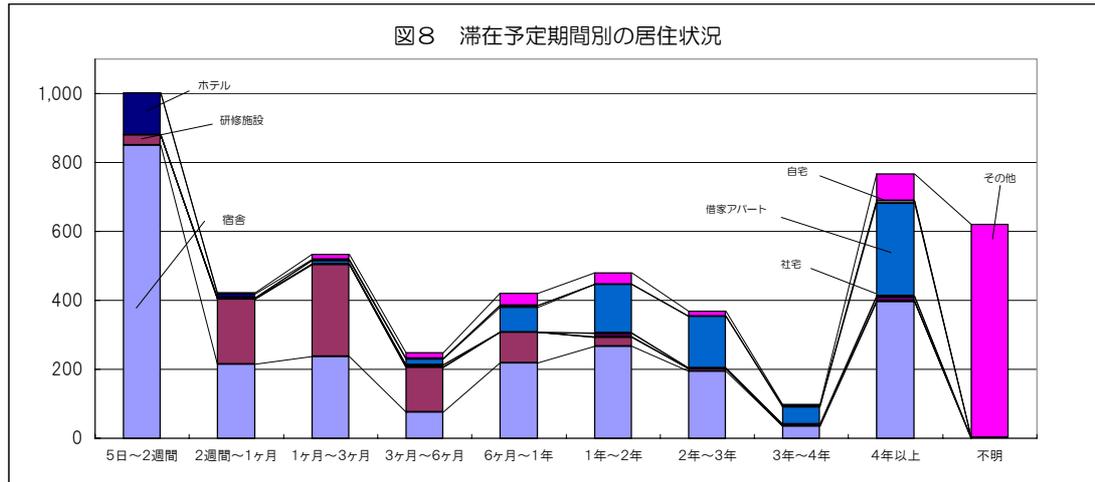


筑波研究学園都市に滞在している外国人研究者等の  
総滞在予定期間別の平成16年度時点の居住状況比較

《表-8》 居住状況（5日以上の滞在者での比較）

	宿舎	研修施設	借上宿舎	その他	社宅	公団	借家アパート	自宅	ホテル	その他	合計
5日以上～2週間未満	850	29							123		1,002
2週間以上～1ヶ月未満	214	189		2	1		1	1	10	4	422
1ヶ月以上～3ヶ月未満	237	267			1		10	1	2	15	533
3ヶ月以上～6ヶ月未満	76	130		2	5		17	1		18	249
6ヶ月以上～1年未満	219	88		1			71	6		36	421
1年以上～2年未満	267	25		3	9	2	140	1		33	480
2年以上～3年未満	195	7			1		150	1		14	368
3年以上～4年未満	36			1	3		51	4		3	98
4年以上	397			1	11	4	268	8		77	766
不明							2			619	621
合計	2,491	735	0	10	31	6	710	23	135	819	4,960

図8 滞在予定期間別の居住状況

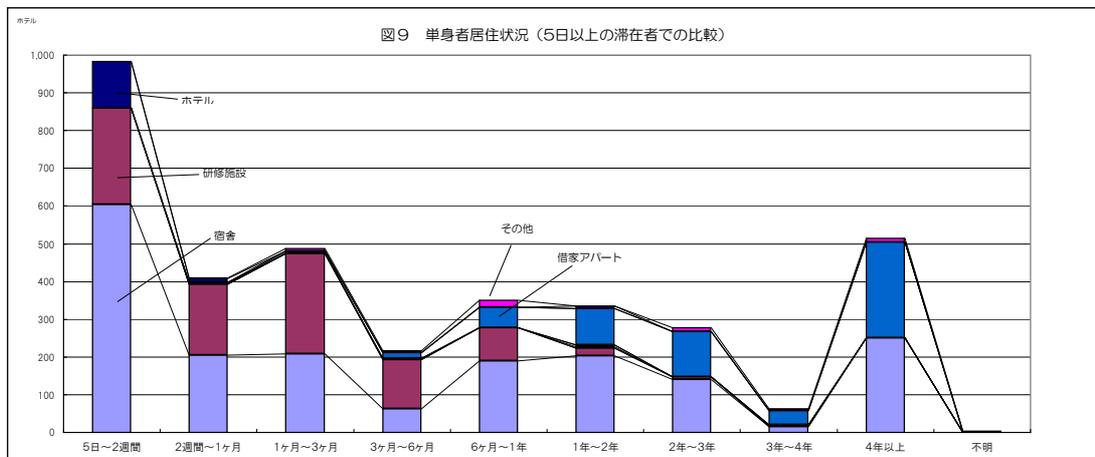


《表-9》 単身者居住状況（5日以上の滞在者での比較）

	宿舎	研修施設	借上宿舎	その他	社宅	公団	借家アパート	自宅	ホテル	その他	合計
5日以上～2週間未満	604	256							123		983
2週間以上～1ヶ月未満	204	189		2		1	1		11	2	410
1ヶ月以上～3ヶ月未満	208	266			1		6			6	487
3ヶ月以上～6ヶ月未満	63	130		1	3		15			4	216
6ヶ月以上～1年未満	190	87		1			53			20	351
1年以上～2年未満	203	20		3	5		98		6		335
2年以上～3年未満	141	6					121			10	278
3年以上～4年未満	16		2	1	1		38			4	62
4年以上	250					1	253	1		10	515
不明							2			1	3
合計	1,879	954	2	8	10	2	587	1	140	57	3,640

\*但し筑波大学留学生センター、産業技術総合研究所は不明のため含まない。

図9 単身者居住状況（5日以上の滞在者での比較）



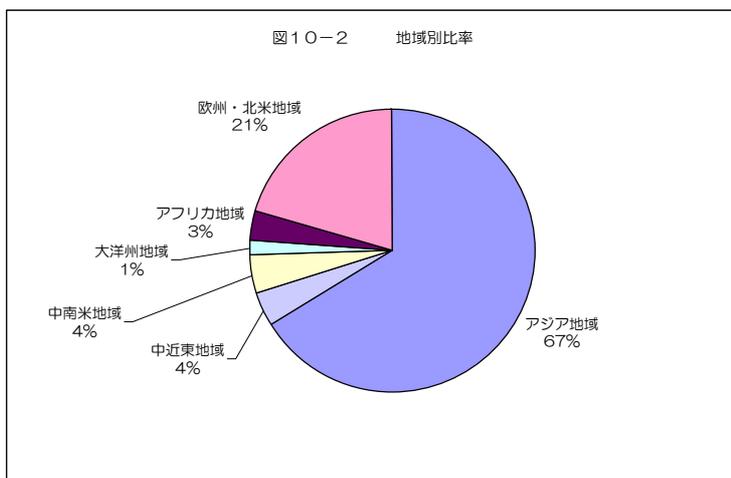
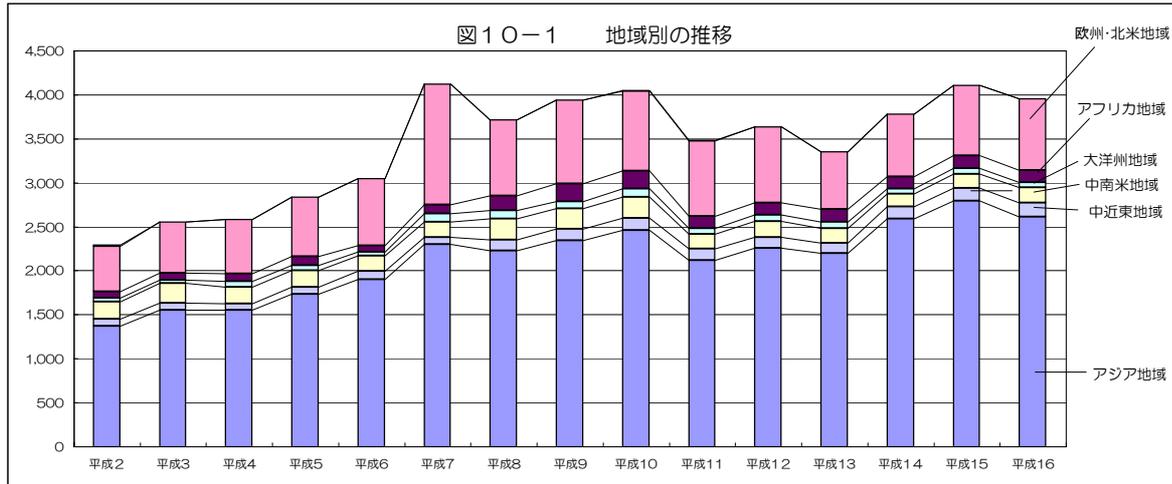
## 比較表〔地域別〕

《表-10》地域別〔2週間以上の滞在者での比較〕

	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
アジア地域	1,369	1,555	1,556	1,738	1,902	2,301	2,230	2,342	2,461	2,121	2,255	2,201	2,590	2,793	2,613
中近東地域	84	79	67	78	91	80	120	130	137	129	127	116	138	149	159
中南米地域	194	224	193	184	179	172	243	234	243	164	177	165	149	159	177
大洋州地域	47	36	61	64	39	93	91	80	88	66	75	70	53	63	59
アフリカ地域	67	79	90	96	74	105	168	202	207	142	138	150	142	144	133
欧州・北米地域	521	580	615	678	762	1,372	863	951	904	858	864	650	709	797	817
不明	13	0	1	0	0	0	0	0	7	2	0	0	0	0	0
合計	2,295	2,553	2,583	2,838	3,047	4,123	3,715	3,939	4,047	3,482	3,636	3,352	3,781	4,105	3,958
国・地域数	108	114	114	115	110	123	123	139	147	131	136	138	131	138	151

\*但し平成7年度は、5日以上2週間未満の690名を含む。

\*平成9年度、10年度については、一部の機関で2週間未満のデータも含まれている。

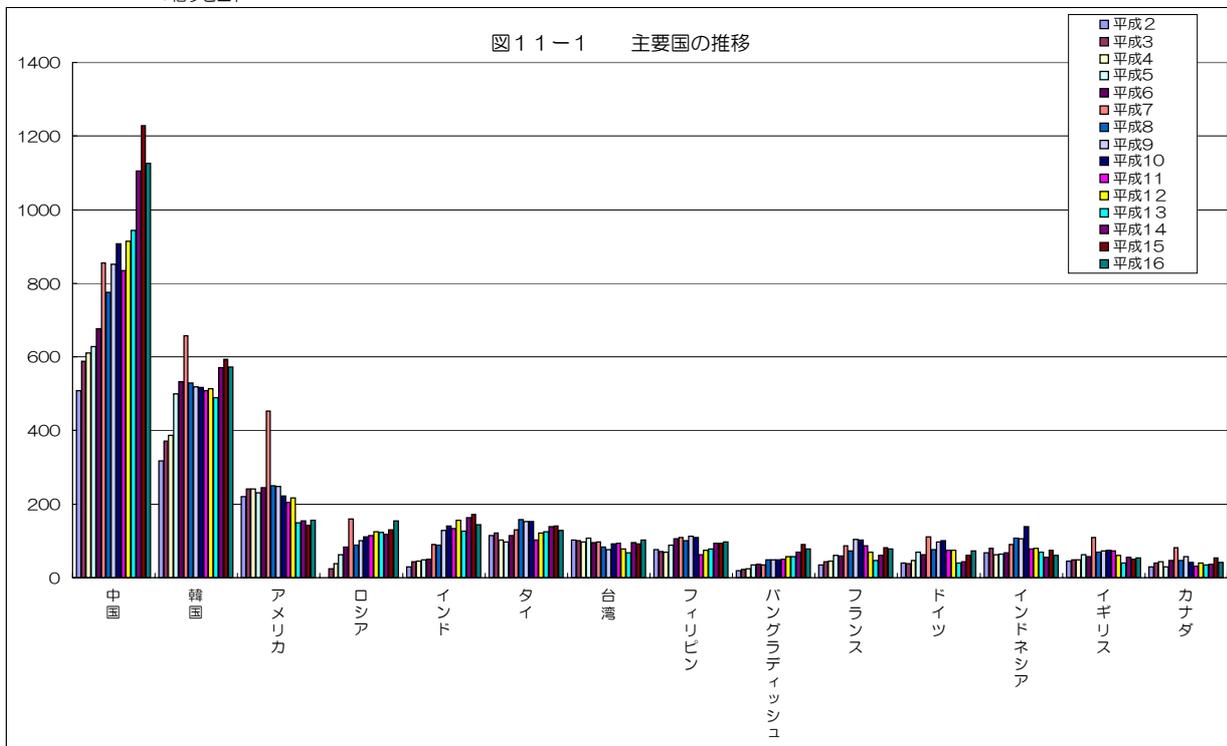


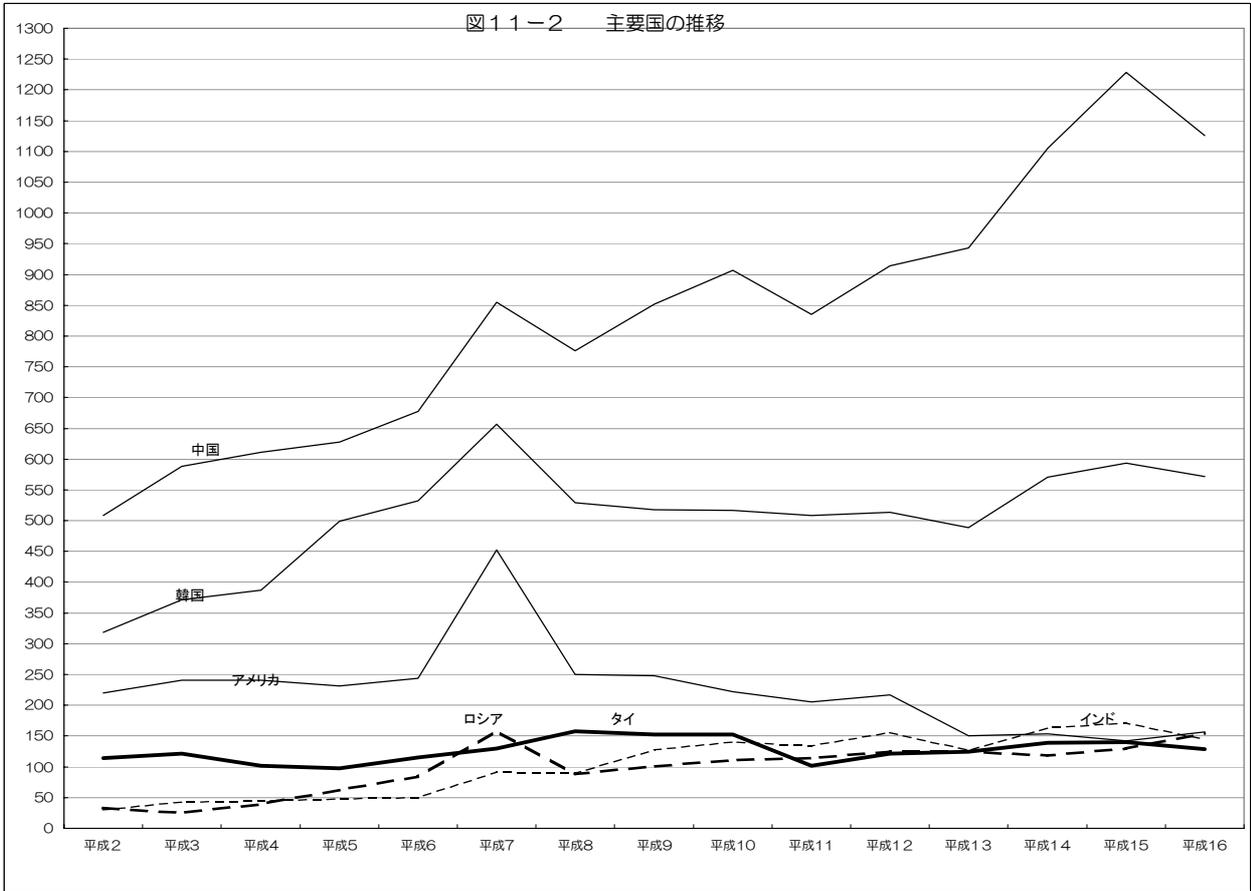
筑波研究学園都市に滞在している外国人研究者等の  
国籍別総数における主要国及び推移

(表-11) 主要国の推移〔2週間以上の滞在者での比較〕

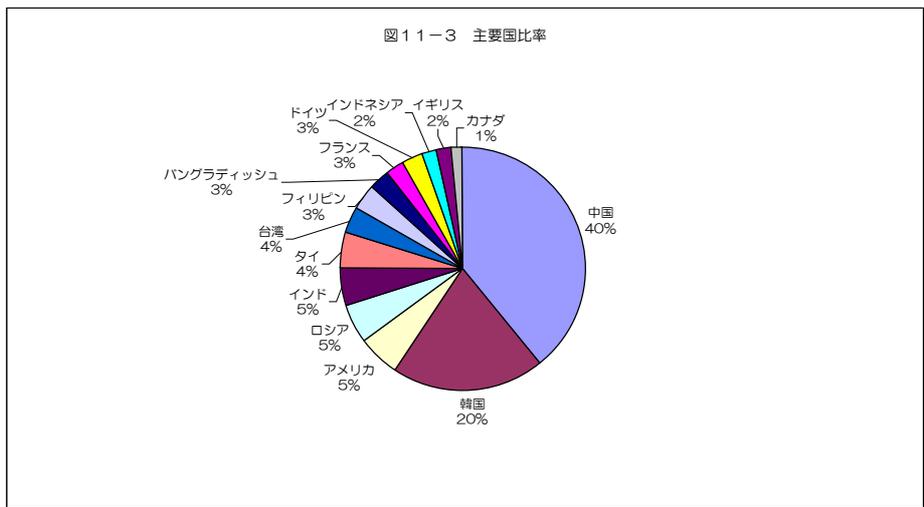
	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
中国	508	588	611	628	677	855	776	852	907	835	914	943	1105	1228	1126
韓国	318	371	387	499	532	657	529	518	517	508	514	489	571	593	572
アメリカ	220	241	241	231	244	452	250	248	222	205	217	150	154	142	157
ロシア	*33	25	39	62	84	159	88	101	111	114	125	124	118	130	155
インド	30	43	45	48	50	91	89	128	140	134	156	127	163	171	144
タイ	114	121	102	98	115	130	158	152	152	102	121	125	139	140	129
台湾	103	100	97	107	96	97	84	76	92	93	78	68	96	92	103
フィリピン	77	71	70	88	106	109	101	112	109	62	74	78	93	93	97
ハンガリー	19	22	25	35	37	35	48	49	49	50	57	57	69	90	78
フランス	35	43	45	60	59	87	73	104	102	87	70	46	60	81	78
ドイツ	40	39	46	69	63	111	76	98	100	74	75	40	44	60	73
インドネシア	67	79	62	64	67	91	108	106	138	78	80	69	55	74	60
イギリス	45	48	49	62	57	110	69	72	74	73	60	40	56	50	54
カナダ	30	40	43	29	47	81	47	57	41	31	40	35	36	54	41
総数	2,295	2,556	2,583	2,838	3,047	3,433	3,715	3,939	4,047	3,482	3,636	3,352	3,781	4,105	3,958

\*旧ソビエト





\*但し平成7年度は、5日以上2週間未満の690名を含む。



## 比較表〔旅費・滞在費〕

(表-12) 旅費 (2週間以上の滞在者での比較)

	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
日本側負担	1,365	1,502	1,484	1,615	1,774	2,527	2,446	2,815	2,839	2,250	2,385	2,055	2,065	1,878	1,661
外国側負担	247	314	422	437	380	592	334	170	356	339	349	270	348	331	454
私費	678	703	645	740	831	902	865	780	756	801	841	848	1,237	1,047	1,058
不明	5	37	32	46	62	102	70	170	94	84	54	177	129	847	783
合計	2,295	2,556	2,583	2,838	3,047	4,123	3,715	3,935	4,045	3,474	3,629	3,350	3,779	4,103	3,956

\*但し平成9年度は、旅費を必要としない正規職員が4名、平成10年度滞在者に2名いたため、また、平成11年度については正規職員6名、国内在住外国人2名がいるため、研究者総数と一致しない。

\*但し平成12～16年度は、国内在住外国人2名がいるため、研究者総数と一致しない。

\*平成7年度は、5日以上2週間未満の690名を含む。

図12-1 旅費の推移

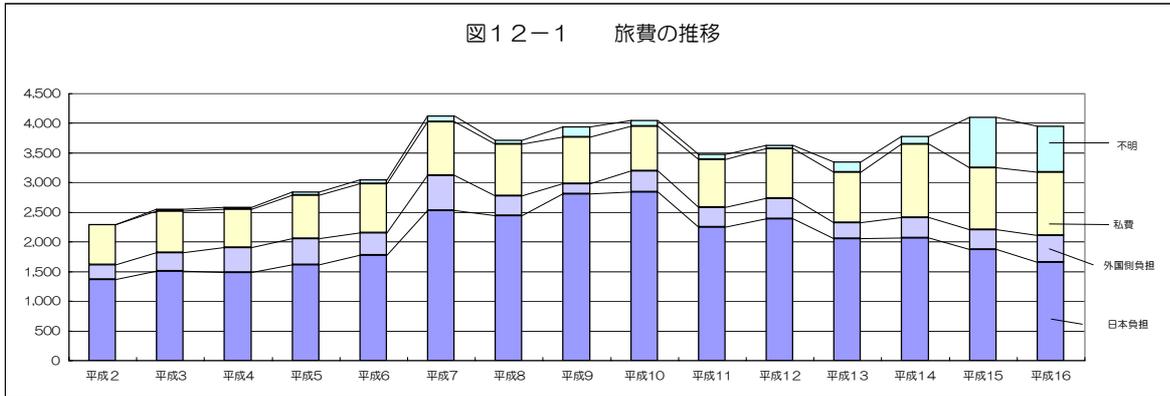
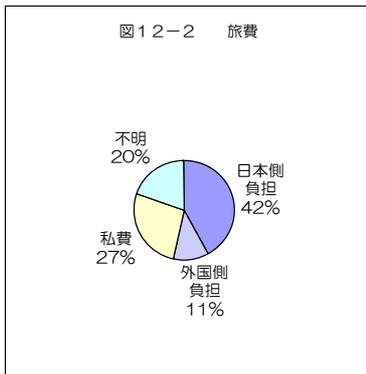


図12-2 旅費



(表-13) 滞在費 (2週間以上の滞在者での比較)

	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
日本側負担	1,406	1,580	1,546	1,712	1,776	2,637	2,524	2,876	2,908	2,307	2,502	2,136	2,600	2,159	1,883
外国側負担	213	269	366	380	370	556	307	142	331	326	266	218	284	288	409
私費	666	674	641	716	843	866	838	770	738	781	824	840	790	888	892
不明	10	33	30	31	53	64	46	147	68	60	37	156	105	769	772
合計	2,295	2,556	2,583	2,839	3,042	4,123	3,715	3,935	4,045	3,474	3,629	3,350	3,779	4,104	3,956

\*但し平成9年度は、滞在費を必要としない正規職員が4名、平成10年度滞在中に2名いたため、また、平成11年度については正規職員6名、国内在住外国人2名がいるため、研究者総数と一致しない。  
 \*但し平成12～16年度は、国内在住外国人2名がいるため、研究者総数と一致しない。  
 \*但し平成15年度は日本・外国側双方より支払いを受けている研究者が1名いたため、研究者総数と一致しない。  
 \*平成7年度は、5日以上2週間未満の690名を含む。

図13-1 滞在費の推移

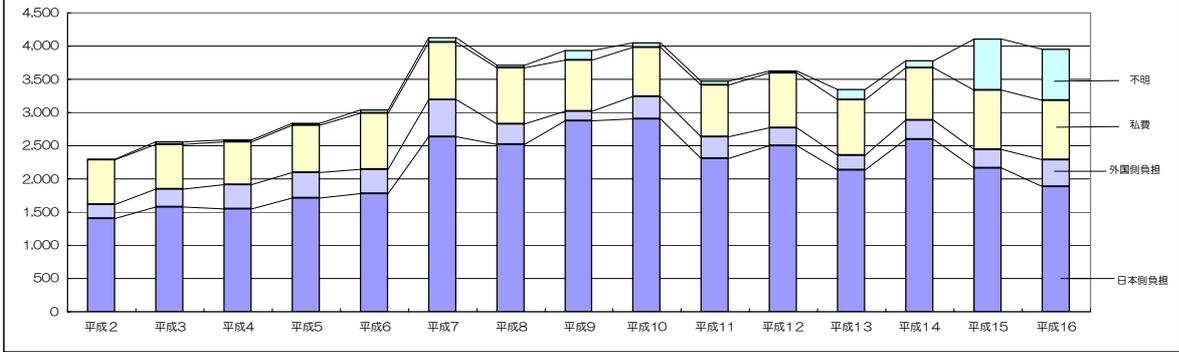


図13-2 滞在費

